

一般質問 町政を問う

14議員が
質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般に対し、質問して確かめることです。会派の代表が質問する「会派代表質問」と、個々の議員が質問する「個人質問」があり、質問時間は答弁を含め50分以内です。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
5	石川 義治	・野菜茶業研究所跡地公園整備計画について
6	石原 寿朗	・進行している大型事業の連携について ・地域防災計画における現状の課題と対策について
7	富永 良一	・防災・減災について ・エキノコックス感染対策について
8	上 福本 貴久	・公共施設の利用者と勤務中の職員の安全確保と対応方法について
	下 岩瀬 計介	・情報社会に対応した広報のあり方について ・学校給食センター広域化について
9	上 久野 勇	・大地震に備え安全に暮らせるまちづくり
	下 甲斐 百合子	・若者支援について ・ヘルプマークについて
10	上 森田 義弘	・児童虐待防止対策について
	下 鈴木 一也	・地球温暖化防止対策について
11	上 本村 強	・暫定用途地域の制限解消に向けた本町の基本的な考え方
	下 櫻井 雅美	・補助教材・副教材について
12	上 梶田 進	・再生エネルギー小型発電設備について ・職員等の旅費に関する条例の改正について
	下 青木 宏和	・危険生物の対策について
13	上 青木 信哉	・通学路の安全について



政和クラブ
石川 義治 議員

Q. 野菜茶業研究所跡地公園整備計画について

A. 災害時にも活用できる 緑豊かな拠点とする

防災公園とは

Q 公園整備計画の総合計画での位置づけ、整備方針は。

A 町長 「緑の拠点」として位置づけ、都市公園および防災公園としての整備方針を設定した。

Q シンボルとなるテントシエルトアの建設費用は。

A 都市計画課長 概算で、8000万円程を見込んでいる。

Q 災害時の利用形態は。

A 建設部長 発災時は一時避難場所、20日以降は応援部隊の活動拠点、その後は応急仮設住宅建設予定地としての利用を考えている。

Q 自衛隊の活動拠点としての考えは。

A 防災交通課長 公園整備に合わせ、防災計画を見直す。

適切な運営管理に

Q 管理運営方法は。

A 建設部長 夜間の公園使用、管理人の設置や事前予約は、考えていない。

Q 不審者やいたずらに対する考えは。

A 都市計画課長 防犯灯を設置する。また、防犯カメラの設置も検討する。

Q 維持管理費用は。

A 都市計画課長 基本設計・実施設計で、コスト縮減を検討する。

Q 約9億4000万円の総事業費のうち、国の交付金ほどの程度の見込みか。

A 都市計画課長 満額がいただけた場合で、約4億円弱と見込んでいる。

住民参加を

Q 事業の住民への周知、理解に対する考え方は。

A 建設部長 広報・ホームページで計画概要を知らせ、意見や情報をいただきたく、パブリックコメントを実施している。

Q 町民意識調査に公園など個別な質問をできないか。

A 企画政策課長 必要に応じて検討していく。

公園の南側用地は

Q 農研機構の所有する公園南側の土地利用に関する町の方針は。

A 企画部長 住宅地開発には、市街化区域への編入が必要となり、農研機構が行う競売時の条件について、調整を行っている。

Q 知多中部広域消防組合武豊支署の移転時期は。

A 町長 平成34年度完成を目指し取り組んでいく。

Q 将来的な町の方針は。

A 町長 将来に禍根を残さないよう、土地利用計画を検討する。



▲ 野菜茶業研究所跡地公園整備計画図(案)





きずな
石原 寿朗 議員

Q. 新規大型施設整備の連携を

A. 次期総合計画で検討していく

本町では、名鉄知多武豊駅東地区市街地整備事業、屋内温水プール建設事業、野菜茶業研究所跡地の公園整備が同時進行している。

新しい大型事業を「点」で整備せず、「面」で整備が必要

Q 整備する大型事業の連携を考慮すべきだが。

A **町長** 駅東区画整理事業は、駅や商店街、JR引き込み線跡地から地域交流センターや屋内温水プールなどの連携。屋内温水プール事業は、地域交流センターやまちの駅、転車台やみそ蔵など観光施設として経済活性化も期待できるよう連携。野菜茶業研究所跡地の公園整備は、防災公園の他、中心市街地と公園での町民の憩い、レクレーションの場としての連携が考えられる。

第6次総合計画では、

人の流れや交通体系、賑わい形成も含め、「面」としても視野に入れて計画策定を考えていく。

Q 大型施設を知多半島道路サイクリングコースとの接続も視野に、ウォーキングコースやサイクリングコースを整備してはどうか。

A **建設部長** これまで武豊ゆめ回廊と題し、「歴史の小径」と「みそ蔵の小径」の散策路を整備してきた。今後も散策路によるネットワーク化の推進に向けた検討を行う。

地域防災計画における現状の課題と対策

Q 若い世代の防災意識をさらに向上させる施策は。

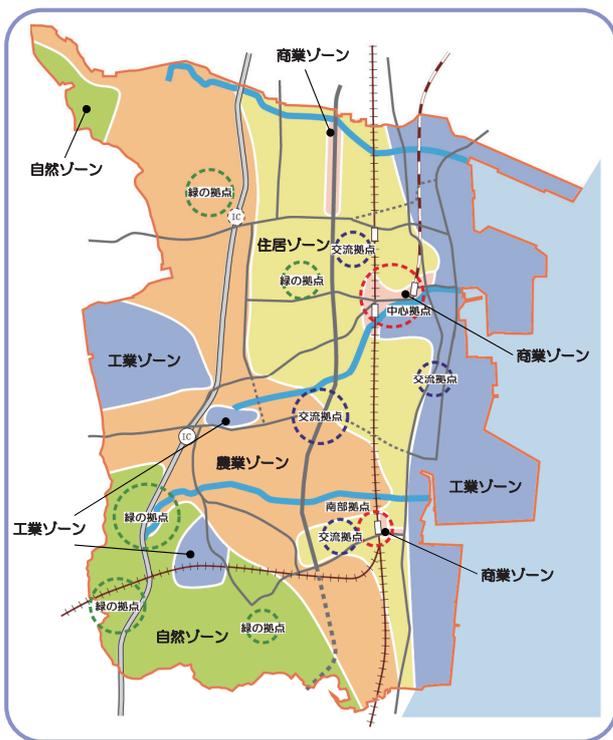
A **総務部長** 小中学校の授業を通して、子供から家族に防災意識の輪を広めるきっかけも作っているが、幅広い世代間で話し合える機会を検討していく。

Q 町では防災交通課の防災メール以外に、教育委員会との学校連絡用メールがあるが、緊急時はすべてのメールアドレス登録者に災害情報を配信してはどうか。

A **総務部長** 災害時にはその時々状況を判断し、情報伝達ができるようにしていく。

Q 液状化の危惧される臨海部で今後複数の大型工事が始まり、一時的に大勢の人が作業に就く。発災時の一時避難所などは検討しているか。

A **防災交通課長** 現時点で事業者からの相談はないが、相談があれば検討する。現状では、既存の指定避難場所と考えている。



▲ 武豊町土地利用のゾーニング



公明党議員団
富永 良一 議員

Q. 水害対策の進捗状況は

A. 東海豪雨65.5mmを上回る 想定で計画

降雨強度について問う

Q 武豊町の想定すべき降雨強度は、どうなっているのか。

A **町長** 東海豪雨と同程度の大雨に対応できるように、降雨強度を10年に一度程度降る大雨、時間降雨68・6mmを計画に採用している。

浸水対策について問う

Q 時間降雨68・6mmと満潮時が重なると、低地の住宅には浸水の可能性がある。浸水ハザードマップを作成しているか。

A **総務部長** 東海豪雨時の浸水区域図はあるが、雨の降り方や雨量によって浸水状況は変わるため、どの状況を基準にして浸水マップを作成するかが難しい。

Q 地勢による浸水の可能性がある所を、浸水ハザードマップの作成の参考にしているかどうか。

A **総務部長** 過去の浸水被害を受けた区域については、浸水対策後の状況を見て、排水計画を立てていくと理解していただきたい。

Q 生活道路のパトロールは、どの課で行っているのか。

A **土木課長** 土木課で実施している。

側溝の点検頻度は

Q 側溝の目詰まりや、堆積物、雑草の点検はどのようになっているのか。



▲ 側溝の雑草

A **土木課長** 道路パトロールなどで確認している。また、区や近隣住民からの連絡・要望により対処している。

Q 町内18区を、順次区ごとに点検する方法は考えられないか。

A **町長** 『ふるさと巡回点検』を実施し、区のご意見を伺うことで現場状況を捉えている。

エキノコックス感染症の対策を

Q 今年の3月に、知多市・阿久比町・南知多町で、野犬の糞から寄生虫が確認され、感染症の恐れがあると報道されたが、本町の対応は。

A **生活経済部長** 野犬の情報が寄せられたら、動物保護管理センター知多支所と連携して対応してまいります。

Q 自然公園・総合公園・梨子ノ木地域・壱町田地域に立て看板の設置を。

A **生活経済部長** 一つの手段として認識している。



▲ 空き地に集まる野犬